

農林水産省の取組状況について

(農地・農業水利施設を活用した流域治水の取組)

令和6年3月6日

農村振興局整備部水資源課

農林水産省

農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進（「流域治水」の取組）

<対策のポイント>

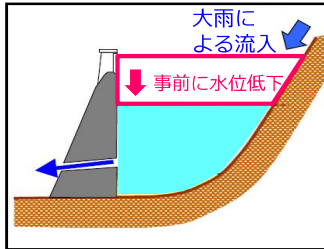
都市・市街地の近傍や上流域には、水田が広がり、多くの農業用ダム・ため池・排水施設等が存在しており、これらの農地・農業水利施設の多面的機能を活かして、あらゆる関係者協働の取組である「流域治水」を推進します。

<事業の全体像>

農業用ダムの活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げることで洪水調節機能を発揮。
- 降雨をダムに貯留し、下流域の氾濫被害リスクを低減。

〔各地区の状況に応じて、放流水を地区内の調整池等に貯留〕



【施設の整備等】

- 施設改修、堆砂対策、施設管理者への指導・助言等

排水施設等の活用

- 農業用の排水路や排水機場・樋門等は、市街地や集落の湛水も防止・軽減。

排水機場と周辺の市街地

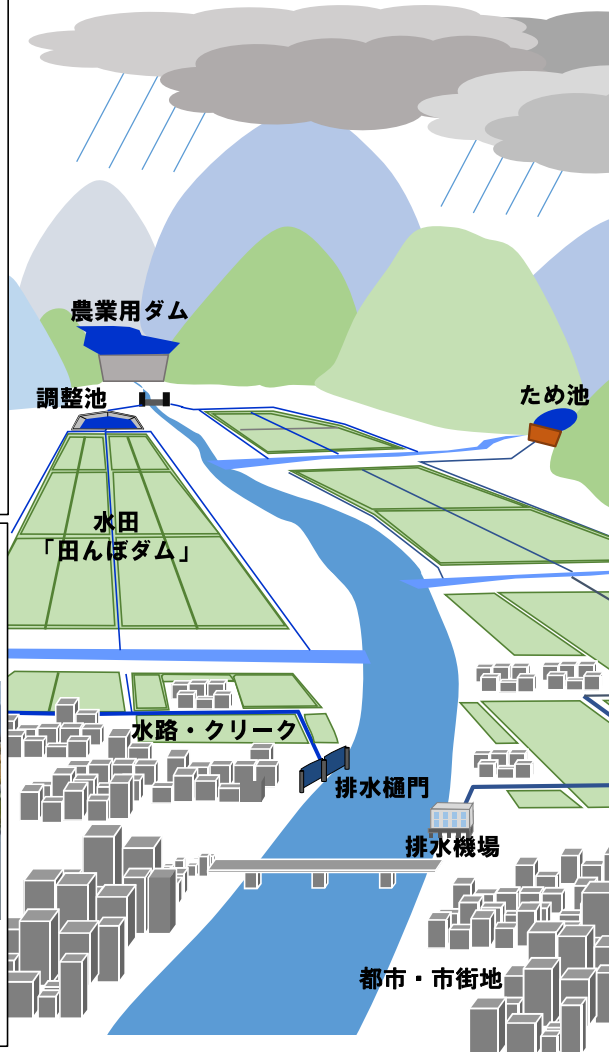


水路・クリーク



【施設の整備等】

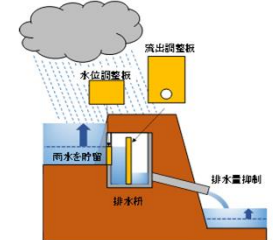
- 老朽施設改修、ポンプ増設、降雨前の排水操作、危機管理システムの整備等



水田の活用（田んぼダム）

- 「田んぼダム」（落水口に流出量を抑制する板等を設置し、水田に降った雨をゆっくりと排水）の取組によって湛水被害リスクを低減。

流出調整板設置の例

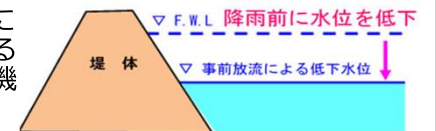


【施設の整備等】

- 水田整備、「田んぼダム」の取組促進

ため池の活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げることで洪水調節機能を発揮。



- 農業用水の貯留に影響のない範囲で、洪水吐きにスリット（切り欠き）を設けて貯水位を低下させ、洪水調節容量を確保。

スリット設置の例



【施設の整備等】

- 堤体補強、洪水吐き改修、施設管理者への指導・助言等

農業農村整備事業における「田んぼダム」の取組の推進

<対策のポイント>

水田の落水口に流出量を抑制する堰板等を取りつけ、水田に降った雨を一時的に貯留することで、実施する地域や下流域の河川や水路における水位の急上昇を抑え、浸水被害リスクを低減させる「田んぼダム」の取組を推進します。

<事業の内容>

1. 「田んぼダム」の取組に対する支援

「田んぼダム」の取組を推進するため、調整活動や畦畔再構築等を定額で支援します。

【主な助成単価】畦畔築立 14万5千円/100m、排水口整備 4万円/箇所

【対象事業】

農業競争力強化農地整備事業、農地中間管理機構関連農地整備事業、
国営農用地再編整備事業、農地耕作条件改善事業

2. 「田んぼダム」の効果発現に向けた支援

「田んぼダム」の取組地域において、湛水による営農への影響を最小限にし、営農再開に向けて速やかな排水を行うため、基幹から末端までの農業水利施設の一体的な整備等を支援します。

【対象事業】

水利施設整備事業（流域治水推進型）

【実施要件】

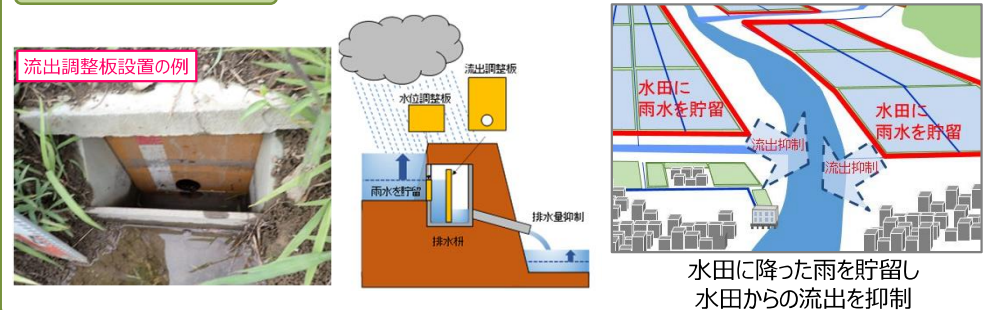
- ・ 「田んぼダム」の取組等を定めた計画を策定すること
- ・ 受益面積の5割以上で「田んぼダム」の取組が実施又は実施見込みであること

【対象地域】

- ① 流域治水プロジェクトが策定・公表された水系又は当該年度中に策定・公表される見込みの水系で実施するもの
- ② 治水協定の締結が完了している水系又は当該年度中に締結される見込みの水系で実施するもの
- ③ 地方自治体が策定・締結する防災に係る計画・協定に位置づけられたもの又は当該年度中に位置付けられる見込みのもの

<事業イメージ>

「田んぼダム」の取組



「田んぼダム」の導入・効果発現に向けた支援



水利施設管理強化事業 <公共>

【令和6年度予算概算決定額 2,735 (2,536) 百万円】
 (令和5年度補正予算額 627百万円)

<対策のポイント>

国営造成施設等の管理について、施設の役割に応じた支援を行い、農業水利施設の有する多面的機能の適正な発揮を図ります。

<事業目標>

安定的な用水供給と良好な排水条件を確保

<事業の内容>

集中豪雨の頻発化等によって農業水利施設の公的な役割が増大し、施設管理が複雑化・高度化していることから、施設の役割に応じた支援を行い、農業水利施設の有する多面的機能の適正な発揮を図ります。

1. 一般型 (国庫補助率：1/2 (①~④)、定額 (⑤))

【対象施設】管理強化計画に基づき土地改良区等が管理する国営及び国営附帯県営造成施設

- 【対象経費】
- ① 防災・減災機能を有する施設：洪水調節機能強化等を含む多面的機能発揮に対応した費用 (維持管理費の「0.75/1.75」相当)
 - ② ①以外の施設：多面的機能の発揮に対応した費用 (維持管理費の「0.6/1.6」相当)
 - ③ 土地改良区等管理施設の整備補修に要する費用
 - ④ 管理水準向上のための技術的支援等に要する費用
 - ⑤ 包括的民間委託の試行に係る調査、契約書類の作成等に要する費用及びその実施に係るかかり増し費用

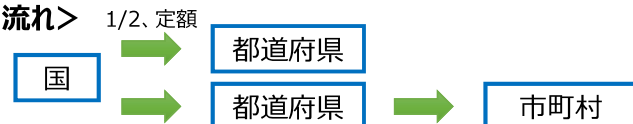
2. 特別型 (国庫補助率：1/2)

【対象施設】洪水調節機能強化に取り組む農業用ダム及び流域治水プロジェクト等に位置付けられた農業用ため池、排水機場等の農業水利施設 (1の対象施設を除く)

【対象経費】流域治水の取組に要する費用

- ・治水協定ダムの事前放流、低水位管理
- ・ため池の低水位管理、水位計等による遠隔監視
- ・農業水利施設による地域排水 等

<事業の流れ>



<事業イメージ>

農業水利施設を取り巻く情勢の変化による、施設管理の複雑化・高度化

集中豪雨の増加

都市化・混住化

農業構造等の変化



市街地・集落の浸水

水路への廃棄物流入

営農の多様化による水需要の変化



施設の役割に応じた支援

農業水利施設の有する多面的機能の適正な発揮

農業用ため池の遠隔監視

スクリーンの除塵作業

きめ細かな操作管理

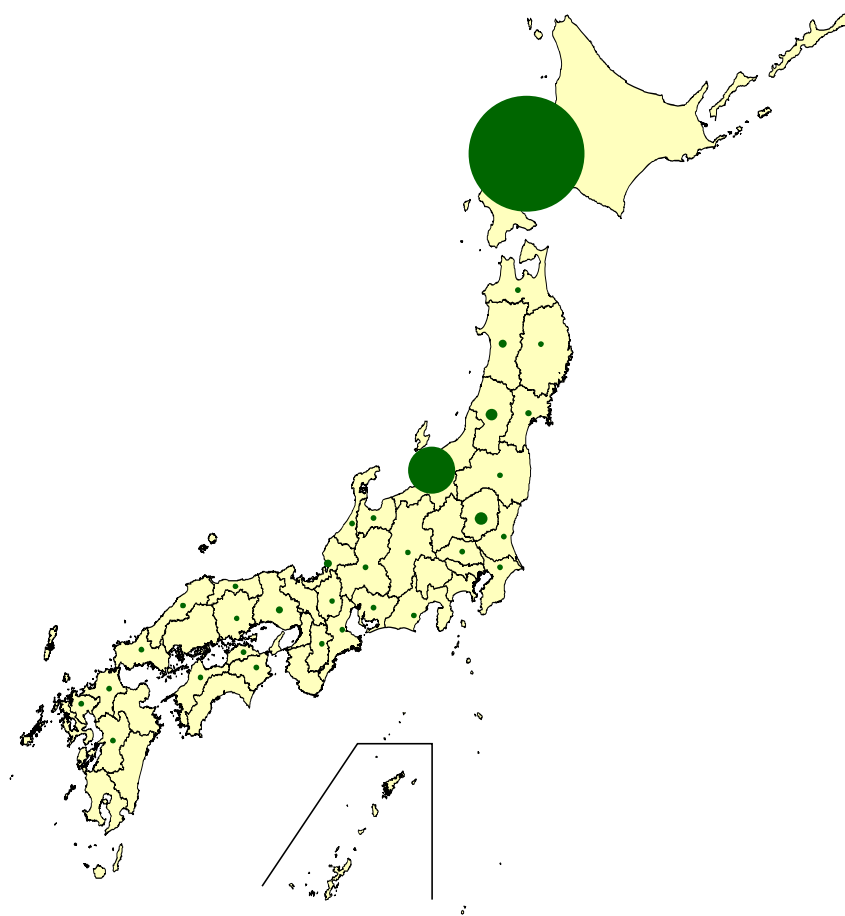
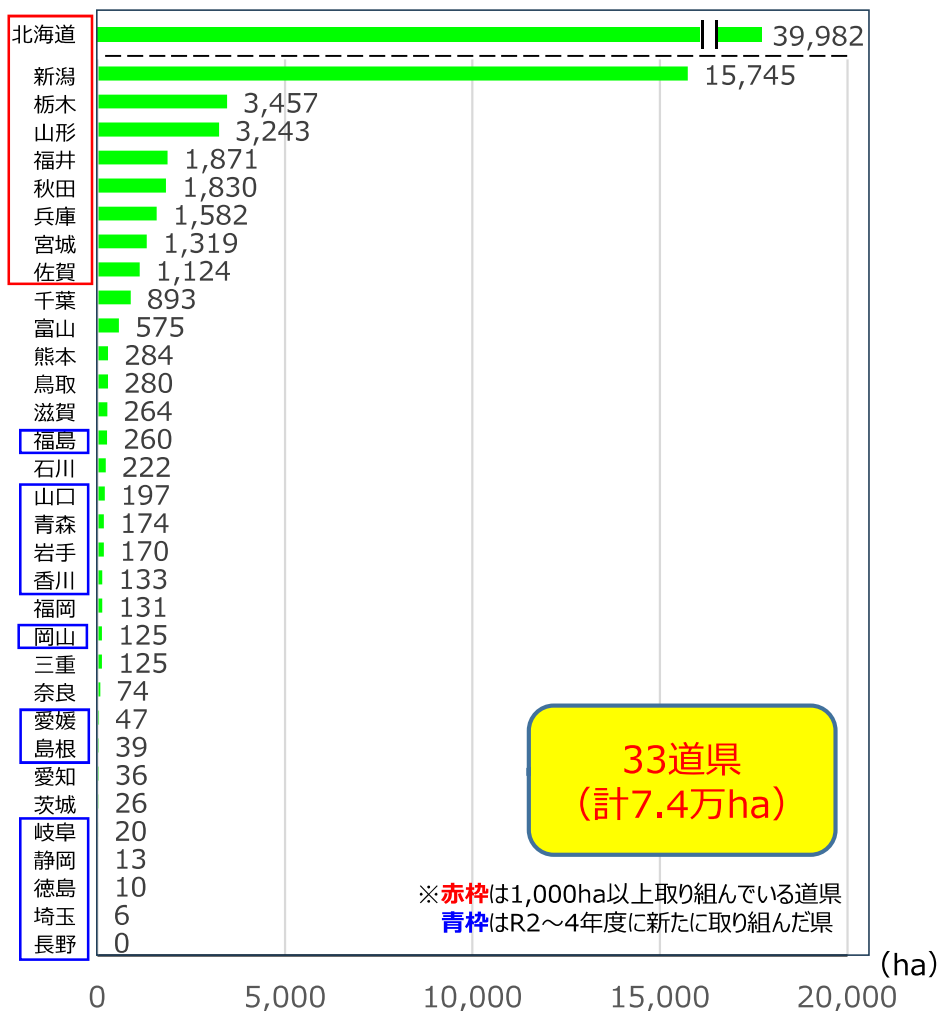


【お問い合わせ先】農村振興局水資源課 (03-6744-1363)

「田んぼダム」の取組状況について

- 「田んぼダム」の取組面積は、令和元年度の約4.1万haから、令和4年度時点では約7.4万haに拡大。
- 令和元年度時点で、1,000ha以上取り組んでいるのは3道県であったが、令和4年度では9道県に増加。

【令和4年度「田んぼダム」取組面積】



※円の大きさは取組面積を表している。
ただし、1,000ha以下は同じ円の大きさで整理

(出典：農林水産省農村振興局調べ)

農業用ダムによる洪水調節機能強化の取組状況について

- 農業用ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用するため、これまでに農業用ダムのある一級水系63水系（267基）、二級水系120水系（146基）で、事前放流の実施条件等を定めた治水協定を締結済み。
- 令和5年度の出水期において、延べ157基が事前放流等により洪水調節容量を確保。

治水協定を締結した 水系数、農業用ダム数

（令和5年4月1日時点）

区分	水系数	ダム数（基）
一級水系	63水系	267
二級水系	120水系	146
計	183水系	413

※水資源機構のダムを含む。
帰還困難区域に含まれるダム等を除く。

令和5年度 事前放流等実施ダム数

（単位：基、令和5年12月時点農村振興局調べ）

	5月上旬前線	台風2号及び前線	6/29からの大雨	8月上旬前線	台風6号	台風7号	8月下旬前線	台風13号	9月中旬前線	10月上旬前線	計
基準降雨量（※1）を超え事前放流を実施	1	9	3	0	9	0	0	0	0	0	22
基準降雨量を超えた時点で容量確保済み	5	10	12	0	18	21	0	11	1	0	78
時期ごとの貯水位運用（※2）	0	1	0	29	0	5	4	6	8	4	57
計	6	20	15	29	27	26	4	17	9	4	157

※1 河川の流下能力からダムごとに設定された事前放流開始の基準となる雨量

※2 水利用を行う可能性が低い期間等に出水の有無にかかわらず、あらかじめ水位を下げておく運用